

令和2年度地域少子化対策重点推進交付金(令和2年度第3次補正予算)実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 川西市 (都道府県: 兵庫県)

本事業の担当部局名 川西市教育委員会事務局学校教育課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.6 その他、各地域において、結婚・妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に向けた、当事者及びその他の社会のあらゆる構成員の意識や行動の改革をもたらそうとする取組		
個別事業名	マイライフ デザイン支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	520,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に向け、教育内容を充実させ、子どもが将来の生活を考えることができるような取組を進めている。親になるための準備教育としての「赤ちゃんとのふれあい体験」や、結婚・妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフデザインを描けるよう「マイライフデザイン」の授業を行うこととしている。</p> <p>本個別計画では、小学生、中学生の時期からライフプランを考える機会を設けることにより、将来の進路選択の際に就職のみならず結婚、出産、育児などのライフイベントを踏まえた生活の在り方についても総合的に考えることにつながる。これらは生徒が具体的に将来を考える機会となり「温かい社会づくり・機運の醸成」に資する取組みである。</p>		
個別事業の内容 ※(注)3	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p>&lt;現状と課題&gt; 本市の出生率は低下傾向にあり、全国平均と比べて低くなっている。主な理由として、晩婚化の進行等による未婚率の上昇に加えて、仕事と子育ての両立の負担感・子育ての負担感の増大が挙げられる。本事業は令和2年度から開始したが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ほとんどの学校が実施を見送る中、小学校2校で実践を行った。課題として、以下が挙げられる。</p> <p>①学習の高度化 ②事後学習の充実 ③講師等の適切な人材の確保</p> <p>&lt;課題への対応&gt; 少子化対策として、即効性のある施策はないが、このような現状の中においても子どもが夢を持って生活できるように教育施策を推進することは重要な取組みであり、国の基本方針にも示されている。</p> <p>出産は人それぞれの価値観によって自由に選択することが前提であるが、家庭や子育てに夢や希望をもてるように次世代を担う子ども達が健やかに育ち、まちに愛着をもてる教育を推進し、将来的には本市で出産や育児することは少子化社会に対応することにつながる。小中学生(対象者 小学校7,600人 中学校3,900人 特別支援学校24人)を対象に以下のような教育実践をおこなうこととする。</p> <p>上記①に対して ・県教育委員会が作成している「キャリアノート」「キャリアパスポート」と本事業をリンクさせ、教科学習や教科横断的な学習でライフプランについて考えられるようにすることで学習の高度化を図る。特別活動の時間を要し、本事業を進めていく上で、「キャリアノート」に自分の将来の夢やチャレンジしたいこと、家族や地域との関わりについて記入していく。1年間のまとめとして「キャリアパスポート」を作成し、次年度(小学6年生は中学校へ、中学3年生は進学先へ)へ引き継ぎを行う。このように意図的・継続的な取り組みを行うことにより、自分を見つめ、目標を立て、ライフプランについて短期的・中期的に考える実践的態度を養う。</p> <p>上記②に対して ・講師の話聞くだけでなく、家族など身近な人の話を聞き、学んだことを授業で交流することで、自分のライフプランについて発達段階に応じて考えられるようにする。</p> <p>上記③に対して ・講師等は学校が人づてで探していることが多く適切な人材を確保することが難しくなっている。そのため、地域と密着している地域学校協働本部等と活用し、地域人材の発掘を行っていくことで、講師の質を高める。</p> <p>【教育実践例】 「キャリア教育」 子どもたち一人一人が、生涯を見据えて、学ぶ意義や目的を見出し、充実した人生を送るための基盤となる能力について、各学校段階間のつながりを重視しながら、意図的・継続的に育成を図る。自分のライフプランを短期的・中期的・長期的に考え、目標に向かって計画立てて行動していくという態度を育てる。</p> <p>「道徳教育」 人間として生きるための基本的な心構えや行動の仕方について、体験的・実践的な活動を通して、他者の考え方について対話を通して学ぶ。家族のありがたさ、家族の思いを感じることで、将来、家族をもったり子どもが生まれたりすることについても意識して生活を送ろうとする心情を養う。</p> <p>「健康教育・安全教育」 自身の健康・安全に気を付けるとともに、家族や友人といった身近な人たちの健康・安全についても考えられるようにする。そこから、地域全体などに広げていけるようにする。将来、家庭をもったときに家族を守る行動についても考える機会とする。</p> <p>「人権教育」 多様な価値観に対する理解を図り、共に豊かな生活を目指す態度を身に付けるようにする。人それぞれの生き方を尊重するとともに、自分の生き方について深く考えられるようにする。</p>		
個別事業の内容			

尚、授業のプロセスは以下のとおり。

①事前学習

各教科や総合的な学習の時間において、単元計画を立て、教育活動を展開していく。また、講師と事前打ち合わせを行い、授業のねらいを明確にしたうえで当日を迎えるようにする。(2回)。県教育委員会が作成している「キャリアノート」「キャリアパスポート」と本事業をリンクさせ、教科学習や教科横断的な学習でライフプランについて考えられるようにすることで学習の高度化を図る。特別活動の時間を要とし、本事業を進めていく上で、「キャリアノート」に自分の将来の夢やチャレンジしたいこと、家族や地域との関わりについて記入していく。

②教育実践

講師の話聞き、地域の自然に触れながら自分のライフプランを短期・中期・長期的に考える(2回)

③事後学習

講師の話聞いたことを踏まえ、単元のまとめを行う。また、新聞やレポートにまとめたり、報告会を行うなど、アウトプットできるようにする。(2回)。講師の話聞くだけでなく、家族など身近な人の話を聞き、学んだことを授業で交流することで、自分のライフプランについて発達段階に応じて考えられるようにする。

(事業費)

報償費 520千円 13校を想定(10,000円×2時間×2回×13校)

※小学校11校、中学校1校、特別支援学校1校

【次年度以降に向けた事業の方向性】

アンケートに基づいて、回数や対象について効果検証を行い、優良事例を市内で実践発表するなどして、全校展開を図っていく。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

兵庫県「体験活動」・兵庫県教育委員会発行「指導の重点」

【事業実施に当たっての留意点】

本事業の実施に当たっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	<アウトプット指標>			
参加予定人数及びその達成率		人	11618	R2集計中	
<アウトカム指標>					
ライフデザインの大切さについて考えた児童生徒の割合		%	70	R2集計中	
妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識を得られた参加者		%	65	R2集計中	
	講義等を友人等に薦めたいと思った参加者の割合	%	50	R2集計中	
個別事業の内容	・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	兵庫県教育委員会が策定している「第3期ひょうご教育創造プラン」の重点テーマである「未来への道を切り拓く力の育成」に位置付ける『『生きる力』を育む教育』の取り組みの推進を図るため、本市においては、子どもたちが充実した人生を送る基盤を形成するキャリア教育及び『命の大切さ』を実感させる教育プログラム』との活用と関連付けながら、本事業に取り組む。県とは、情報交換を密に行いながら事業の取り組みを発信するなど、連携を図る。			
	・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法※(注)6	必要に応じ、NPO法人と連携を行う。また、人材探しとして地域学校協働本部と連携を行う。実施主体は市教育委員会とし、事前打ち合わせにより学校現場とNPO法人と共通理解を図り、実施する。報償費として謝礼金を支払うこととする。			
	・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 参画協働課 (配慮すること) NPO法人等市民活動団体を側面から支援する部署のため、連携を密にすることに配慮。			
	・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input type="checkbox"/> ③随意契約(事業の内容) (随契の理由)			
	・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有(取組名: ) <input checked="" type="checkbox"/> 無 有の場合の担当部局:			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分①(結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直前年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。